

地域における予防の効果 理学療法の可能性

近年、「予防」の重要性が高まっており、本特集では地域における予防について、対象者個々人の状態の維持、医療費の抑制・削減、集団活動と地域・街づくり、病院との連携など、さまざまな視点から理学療法の可能性と効果について整理した。

地域での運動・保健行政による予防活動の可能性

医療費削減効果の視点から 吉田俊之

本稿では、健康に対する概念の変遷、高齢者の予防ニーズの変化、そして想定される将来の高齢者像や専門職の姿、また、超高齢・人口減少社会から生じる課題や制約などを可能な限り幅広く整理した。最後に、地域での運動・保健行政による予防活動の可能性を検討し、地域主体で取り組む意義や、今後の予防領域の理学療法(士)に求められるポイントを整理した。

理学療法士の地域における予防活動の実態と活動効果 野村卓生

地域での予防における理学療法の取り組みについて、関連する法律等を含めて目的、対象、効果指標の3つの視点から広く概観し解説した。目的を「健康増進、介護予防、重症化予防」の3点に分類し、健康増進では産業保健と学校保健の面から理学療法士の取り組みを紹介した。介護予防では地域貢献の面から、重症化予防では全国的にも数少ない理学療法士の取り組みの実例を紹介した。

介護予防・日常生活支援総合事業における理学療法の効果 服部真治

介護予防・日常生活支援総合事業における通所型サービスCの実施率は低調で、その効果に関する検証はいまだ十分になされていない。本稿では、筆者らが大阪府寝屋川市で行った実証研究の一部を紹介するほか、海外で取り組まれているリエイブルメントやその研究成果も検討し、今後の理学療法士の地域における予防活動について提言する。

地域のスポーツグループへの参加と介護予防 金森 悟

本稿では日本老年学的評価研究(JAGES)の研究成果を中心に、①スポーツグループへの参加と介護予防、②地域単位のスポーツグループ参加割合と介護予防に関するエビデンスを紹介する。これらの結果より、運動と密接にかかわる理学療法士には対象者に運動を家族や友人と一緒にすることを促すことや、地域にある運動に関する社会資源の把握・育成・支援により、運動を通してさまざまなつながりを創り出していくことが望まれる。

急性期病院における予防と地域との連携 岩田健太郎, 他

慢性疾患の重症化を予防し、介護度の上昇を防止するためには、急性期病院と地域が一体となって地域連携を進める必要がある。この医療介護連携では、急性期病院でいかに高リスク患者をスクリーニングし、地域につなぐかが鍵となる。本稿では、人事交流やクラウド型地域連携システムの活用など、神戸市立医療センター中央市民病院における取り組みを交えて解説する。